

# 市民協働かわら版

No.67



二月二十五日(火)令和元年度第十回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、六名(市民四名、職員二名)の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】  
二月になりました。新型コロナウイルスの影響により、多くのイベントが中止、延期となっています。毎年恒例のABC祭りも中止となりました。一日でも早く流行が収まればいいのですが、それまでは、不要不急の外出、人ごみは避けた方が良さそうです。今日のサロンでは多くの方が街づくりに参加できる方策についてお話をしました。みんなで楽しく考えましょう！

## ◎令和二年度に向けて

まもなく令和元年度も終わります。令和二年度に向けてサロンの活動について考えてみました。平成三十年度から実施した泉南街道物語の評判が良かったので、なにかサロン主催でやりたいという意見です。泉南の自然関係なら「ヒメポタル」や「ウミポタル」や「ウミガメ」、泉南の歴史物語なら「神武東征のお話」、興味深いモノが泉南市にはたくさんあります。多くの皆さんに泉南の魅力を楽しみながら伝えたい。自分たちで出来ることを無理せずみんなで協力してやってみましょう！

## ◎サロンの形

サロン主催で行う講座には多くの方が参加してくださるのですが、毎月一回のサロンへの参加者が少ないのが現状です。毎月第四火曜日の平日に開催していることもあり、働き盛りの皆さんが参加することが難しい時間帯でもあります。人それぞれ活動時間が個別に違います。フェイスブックやラインを活用しようという話になりました。定例のサロンに出る機会が出来るなくても、フェイスブックなら多くの方が参加できます。二十四時間アクセスすることが出来ます。フェイスブックで繋がって、何かしようにしたら、実際に集まればよいのです。幅広く、誰でも参加できるサロンには打って付けかもしれません。前向きに検討したいです。

## ◎地域に広げよう

地域の集会場を回ってサロンを開催したことがあります。もう一度、地域を回ってみてはどの意見が出ました。泉南市は二十三区からなっています。区によって、自然環境、文化、歴史が違って面白いのです。地域でサロンを行うことで、地域の生きたお話が聞けることでしょうか。人の繋がりを広げることで、地域の魅力、泉南市の魅力が再発見できます。また、それを磨くことで魅力が増します。あなただけが知っている泉南の魅力を子どもたちに伝えていきましょ。

## 「金熊寺梅林」

泉南市にある金熊寺は泉州有数の梅の名所です。江戸時代中ごろ、隣接する信達神社の神主さんに、梅を植えれば、この地が栄えるとの神様からのお告げが始まりと言われています。金熊寺梅林は、今も約二千本の梅の木が植わり、二月から三月にかけてあたり一面に梅のいい香りが立ち込めます。金熊寺は、約千三百年前、修験道の開祖、役の行者が吉野金峯山の神様と熊野の神様を勧請し、両方から一字を取って「金熊寺」と号することになりました。明治になるまでは、神仏習合で金熊寺と信達神社は一体でした。お寺と神社が並んでいるのはその名残です。自然豊かな東信達地区を代表する観光資源です。のんびりと自然を満喫するもよし、お寺と神社で歴史を堪能するもよし、お弁当を持ってみんなでピクニックも楽しいです。



発行：泉南市総合政策部政策推進課  
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一ー一ー  
TEL：〇七二一四八三〇〇〇四

(令和二年四月七日発行)